

令和7年度 京都市立梅津小学校「学校いじめ防止基本方針」

1 総 則

(1) 目 的

「国における検証（課題意識）及び基本方針の改定」と「京都市いじめの防止等取組指針」を受け、「本市の現状分析・課題及び学校が実施する施策」として本校の「学校いじめ防止基本方針」の目的を次のように定める。

「いじめ」は子どもたちの心身の健全な成長に重大な影響を及ぼし、自殺や不登校を引き起こす深刻な人権問題である。そのような中で「いじめ」はどの学校、学級でも起こりうるものであり、また、全ての子どもが、突然被害者にも加害者にもなり得るものであると捉え、学校の中では「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」を徹底し、「いじめ」を許さない学校づくりを推進する。

(2) 理 念

- ①すべての子どもが「正義感」「人権尊重の精神」「社会貢献の精神」「道徳心」「規範意識」を身に付け、いじめを行わないと同時に、子ども自身がいじめ防止の取組の当事者意識をもてるようにする。
- ②いじめ問題の解決に当たっては、いじめを受けた子どもの心に寄り添った対応、いじめを行った子どもには再びいじめやいじめに準ずる行為が行われないよう迅速かつ的確な対応をする。
- ③いじめを受けた児童の保護者やいじめを行った子どもの言動に困りを感じている保護者への相談体制の整備や必要な支援を行う。

2 学校におけるいじめの防止等の対策のための組織（いじめ対策委員会）

ア 構成員（職名又は校務分掌）

校長 教頭 教務主任 生徒指導主任 養護教諭 教育相談主任
生徒指導部担当教員 スクールカウンセラー

イ 役割・取組内容

- ・児童や保護者、地域に対する情報発信と意識啓発、意見聴取
- ・個別面談や相談窓口の集約
- ・いじめやいじめが疑われる行為を発見した場合の集約窓口
- ・「学校いじめ防止基本方針」「いじめの防止等に関わる年間計画」の作成
- ・未然防止の取組の推進や学校基本方針に基づく取組の実施と進捗状況の確認
- ・教職員の共通理解と意識啓発
- ・発見されたいじめ事案への対応
- ・重大事案への対応
- ・年間の取組についての見直しを行う時期の決定
- ・「いじめ対策委員会」、「いじめの対応に特化した研修」の時期の決定
- ・未然防止の取組の年間計画の決定
- ・個別面談や教育相談の時期や回数の決定

※ いじめ対策委員会は毎月行い、関係の会議の回数・実施時期については、後述の「年間計画」に記載。（緊急の場合は、構成員も含め、この限りではない）

ウ 周知

- ・6月の集会で児童に周知
- ・6月の学校だよりで保護者に周知

3 学校いじめの防止プログラム

(1) 学校におけるいじめ未然防止のための取組

ア 学習環境の整備・授業改善の充実

- ・全ての児童がわかる喜びと学ぶ楽しさを実感できる授業の実施。
- ・学習するときの約束やルールを一人一人の子どもが確実に身に付け、意欲的に学ぶ集団づくりの取組の推進、および規範意識の醸成
- ・教育課程指導計画（京都市スタンダード）に基づく指導の徹底。
- ・言語活動の充実とコミュニケーション能力の育成を重点においていた学習内容や学習形態の工夫。
- ・少人数授業の推進
- ・教科担任制の積極的な導入
- ・自主学習の工夫

イ 道徳教育・人権教育の充実

- ・やわらかいけれど芯のしっかりした「しなやかな道徳教育」の実践。
- ・よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てることをねらいとした活動の、意図的・計画的な実施。
- ・「いじめは絶対に許されない」ことや、「命の大切さ」「思いやりと友情」などを具体的に取り上げた人権学習、道徳の学習の実施。
- ・地域ボランティア、ゲストティーチャーを活用した人権学習、道徳の授業や講演の実施。
- ・警察のスクールサポーターによる非行防止教室の実施。

ウ 体験活動の充実

- ・長期宿泊学習の取組を通しての仲間づくり。
- ・学校行事などを通しての人間関係づくり。
- ・総合的な学習、生活科等を通しての自他の命を尊重する活動の推進。

エ 児童生徒が自主的に行う活動の充実

- ・異学年集団の交流等を進める中で、望ましい人間関係の育成と、協力して諸問題を解決する力の育成。
- ・縦割り活動によるピアサポート体制。
- ・地域、PTAとともに取り組むあいさつ運動の実施。
- ・いじめ防止に向けた標語、スローガン、ポスターの作成と掲示

オ 児童生徒へのはたらきかけ

- ・非行防止教室の実施と事後指導として全学年への発信。
- ・学級通信等での「いじめは絶対許さないことである」旨発信。
- ・毎月10日の属する「ともだちウィーク」で人権について考え、子ども自身がいじめ防止の取組の当事者意識をもてるようにする。
- ・毎月15日の「いいことばの日」で友達を大切にする言葉を意識できるようにする。

カ 保護者の啓発

- ・学校だより、人権だより、人権学習・道徳の学習の参観授業による保護者への啓発活動。
- ・「学校いじめ防止基本方針」の発信。

キ その他

- ・評価アンケートの結果の分析と、P D C Aサイクルでの見直し。

(2) いじめの早期発見・積極的認知のための取組

ア 児童生徒に対する定期的な調査

(ア) アンケートなど

- ・学校評価アンケート、いじめに特化した記名式アンケートを利用しての「いじめ」の兆候の早期実態把握及びいじめの兆候やいじめ事案を発見した場合について、いじめ対策委員会で協議し迅速に対処。
- ・クラスマネジメントシートを活用しての「いじめ」の実態把握と学級経営の見直し。

(イ) 教育相談など

- ・アンケートに基づく積極的な相談活動の実施。
- ・教育相談週間の設定と、教育相談週間前の児童に対するアンケートの実施による発見の強化。
- ・S Cとの連携による教育相談

イ 相談体制の整備

- ・定期的な「いじめ対策委員会」による情報共有と組織的な動きの構築。
- ・定期的な家庭訪問の実施による相談機会の確保。

ウ その他

- ・登校時、休み時間、掃除中などを含めた日常的な取組の中での、児童の観察・見守り活動と全教職員間での情報共有。
- ・全教職員によるいじめを見逃さない・見落とさない・見過ごさない体制づくりの構築。

(3) いじめが起きたときの措置及び再発防止に向けた取組

- ・速やかな対応、丁寧な聞き取り、正確な事実関係の掌握。
(被害の態様、状況、構造、動機、背景など記録し保存)
- ・組織的（担任任せにならない）な対応。
- ・重大事態の防止。
- ・被害児童の保護を最優先に考えた対応。
- ・加害児童への責任ある指導。
- ・保護者との連携。
- ・学級、学年等の集団全体を見据えた指導。

(4) 教職員の資質能力向上（校内研修）

- ・生徒指導体制の見直しと「報告」・「連絡」・「相談」の徹底。
- ・教員研修による教師一人一人のいじめに対する意識の向上。
- ・いじめ事案ごとのミニケース検討会の開催。
- ・教職員の人権感覚を磨く取組と能力向上を図る研修会の実施。

(5) インターネットを通じて行われるいじめに対する対策の推進

- ・情報モラルに関する学級活動の強化。
- ・S N Sを通じて起こっている問題行動の理解。
- ・S N Sを使っての「いじめ」対応の事例研修。
- ・家庭教育学級、地生連等を活用しての地域への啓発。

『いじめ事案に対する組織的な対応の流れ』

前提となる基本事項

- | | |
|--|--|
| 『学校いじめ防止基本方針』
□学校いじめ防止プログラムの策定
□教職員、児童生徒、保護者、地域への周知
□取組状況を学校評価に位置付け、点検・評価を行い、必要に応じて改善 | 『いじめ対策委員会』
□担任（担当者）といじめ対策委員会との連携
方法の確認・周知
□臨時の委員会開催時の手順確認・周知
□児童生徒、保護者、地域への周知
□いじめの認知・解消の判断について確認 |
|--|--|

未然防止の取組

- ・学習環境の整備
- ・道徳教育・人権教育の充実
- ・児童生徒同士の絆づくり
- ・授業改善
- ・児童生徒が主体的に行う活動や体験活動の充実

予防

いじめ（その疑いがあるものを含む。以下同じ）の情報を把握

- ・教職員、児童生徒、保護者、地域、その他からの情報から
- ・アンケート調査等の情報から 等

見逃しのない観察

組織（いじめ対策委員会）で情報共有し、事実関係を把握する。

手遅れのない対応

【いじめ対策委員会で共有】

- まず、いじめ対策委員会で情報共有を行い、聴き取り・指導・支援体制を検討。

【事実確認】

- 複数教職員で対応し、「いじめ」の認知は、表面的・形式的に行わず、組織的に判断する。
- いじめを受けた児童生徒と、いじめを行った児童生徒を個別で聴き取る。
- 何があったのかについて丁寧に事実確認を行う。
- 聴き取った内容は、時系列で事実経過を確認・整理して、記録をまとめておく。

心の通った指導

管理職のリーダシップの下、学校としての対応方針を決定する。

[認識の共有化・行動の一元化]

【児童生徒への指導・支援】

- いじめを受けた児童生徒へは「絶対守る」「必ず解決する」という学校の姿勢を示す。
- 登下校、休み時間、清掃時間等、隙間の時間をつくりず、被害児童・生徒を見守るとともに、必要に応じてSC、SSW、パトナ等との連携を図る。
- いじめを行った児童生徒に対し、二度と繰り返さないよう、自らの非を深く自覚させ、再発防止に向けた指導を行う。
- 周囲の児童生徒に対し、いじめを他人事ではなく、自分たちの問題として捉えさせる。

【保護者への連絡・家庭との連携】

- 担任（担当者）をはじめ、つながりのある教職員を中心に、すみやかに関係児童生徒（加害・被害とも）の家庭訪問等を行い、事実関係と今後の指導方針を説明し、必要な連携を求める。

【教育委員会への報告・連携】

- 重大事態の疑いがある等、いじめ事案の内容により、直ちに教育委員会へ報告し、連携して対処する。

【謝罪の場の設定】

- いじめを受けた児童生徒・保護者の意向を十分尊重し、原則、関係児童生徒、保護者が一堂に集まり謝罪をする場をもつ。

【関係機関との連携】

- 必要に応じて警察、児童相談所等と連携して対処。

「いじめの解消」まで継続的な指導や支援の実施

【学校全体での継続的な指導・支援】

- 少なくとも以下の2つの要件が満たされるまで支援を継続する。
①いじめに係る行為が少なくとも3か月間止んでいること（救済）
②いじめを受けた児童生徒が心身の苦痛を感じていないこと（回復）

※面談等により確認し、解消判断は個人ではなく組織（いじめ対策委員会）で行う。

4 保護者・地域、関係機関との連携

- ・梅津小学校PTAとの連携のもと、いじめ問題や「梅津小学校いじめ防止基本方針」に対する理解を深める家庭教育学級や地生連での研修会を設定する。
- ・いじめの事案によっては、警察署少年係との連携を密にし、被害児童の身の安全を最優先させると共に、児童相談所との連携も図り、加害児童・被害児童の精神的ケアを図る。
- ・平素からスクールカウンセラーとの連携を密にしておく。

5 重大事態への対処

- ・京都市教育委員会への報告と相談、調査主体等の協議。
 - 生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。
 - 相当の期間、学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。

学校が調査主体の場合

- ・学校の下に重大事態の調査組織を設置。
- ・調査組織で、事実関係を明確にするための調査を実施。
- ・いじめを受けた児童及びその保護者に対して必要に応じた適切な情報提供。
- ・京都市教育委員会への調査結果の報告。
- ・調査結果を踏まえた必要な措置。
- ・同種の事態発生の防止に必要な取組の推進。

京都市教育委員会が調査主体の場合

- ・京都市教育委員会の指示のもと、資料の提出など、調査への協力。

6 年間計画（予定）

いじめの防止等のための取組を下表のスケジュールにより実施する。ただし、年度途中に計画の見直しを行う場合がある。

月	対策会議や 校内研修等	未然防止に向けた 取組や行事等	アンケートの実施や 教育相談週間等 (早期発見・積極的認知)	保護者への啓発等
4	不登校・いじめ対策委員会（毎月末） 職員会議（4月当初） 「学校いじめ防止基本方針」 「生徒指導に関する共通理解事項」の 共通理解	ともだちウィーク いいことばの日		入学式後の保護者説明会 参観・懇談会 個人懇談会
5	不登校・いじめ対策委員会 生徒指導研修会 「共通理解児童の把握」と共通理解	ともだちウィーク いいことばの日 1年生を迎える会 なかよしグループ活動 6年修学旅行		個人懇談会 「学校いじめ防止基本方針」をHP にアップ
6	不登校・いじめ対策委員会 早期発見・積極的認知 に向けて	ともだちウィーク いいことばの日 梅津クイズラリー	第1回いじめに関する記名式アンケート 集会で児童に「いじめ対策委員会」について周知 教育相談週間	学校だよりで「いじめ対策委員会」を周知 学校運営協議会に「学校いじめ防止基本方針」等の説明 授業参観（懇談なし）
7	不登校・いじめ対策委員会 (いじめアンケート等の調査結果の 情報共有) プログラム及び取組の見直し	ともだちウィーク なかよしグループ活動 いいことばの日 5年花背山の家宿泊学習	第1回クラスマネジメントシートの実施 教育相談週間 学校評価アンケート	個人懇談会 梅津だより・ホームページ 人権だより
8	不登校・いじめ対策委員会 生徒指導研修会「内容は未定」（中旬）			学校運営協議会に「いじめ対策委員会の取組」を説明
9	不登校・いじめ対策委員会 早期発見・積極的認知 に向けて	ともだちウィーク いいことばの日		家庭地域教育学級

10	不登校・いじめ対策委員会 (いじめアンケート等の調査結果の情報共有) 生徒指導研修会 「共通理解児童の把握」(第二週木曜)	ともだちウィーク いいことばの日 運動会	第2回いじめに関する記名式アンケートの実施 教育相談週間	梅津だより・HP 人権だより
11	不登校・いじめ対策委員会	ともだちウィーク いいことばの日 UMEZU 祭り		参観・懇談会
12	不登校・いじめ対策委員会 プログラム及び取組の見直し	ともだちウィーク いいことばの日 なかよしグループ活動	第2回クラスマネジメントシートの実施 教育相談週間 学校評価アンケート	個人懇談会 梅津だより・HP 人権だより
1	不登校・いじめ対策委員会 早期発見・積極的認知 に向けて	ともだちウィーク いいことばの日 なかよしグループ活動		人権だより
2	不登校・いじめ対策委員会 共通理解児童の実態変容評価 (新規・月末)	ともだちウィーク いいことばの日 なかよしグループ活動		新1年入学説明会 参観・懇談会
3	不登校・いじめ対策委員会 プログラム及び年間の取組の見直し	ともだちウィーク いいことばの日 6年生を送る会		